

7 . 地域保健課

1 結 核 对 策	50
2 地 域 精 神 保 健 福 祉 对 策	53
3 難 病 对 策	57
4 感 染 症 对 策	59
5 原 子 爆 弹 被 爆 者 对 策	59
6 予 防 接 種 对 策	59

1. 結核対策

結核予防法に基づき、結核の予防および結核患者に対する適正な医療の普及を目的として、結核患者家族検診及び訪問指導、結核診査協議会等を実施しました。

結核患者の状況は、死亡数、患者数共に一時減少の鈍化が認められましたが、取り組みの強化と共に再び減少に向かっています。しかし、結核菌塗沫陽性肺結核罹患率は依然横ばいで、その多くは高齢者です。近年グローバルな時代を迎え東南アジアに結核高蔓延国が多いこともあり、若い世代も結核と無縁とは言えない時代となりました。これらの現状を踏まえ、患者家族検診及び患者管理の徹底を図り、病院との連携を推進し、DOTS（直接服薬確認）体制の充実に努めました。

(1) 市町別結核患者登録数

平成 19 年末

分類別 市町	総数	肺結核活動性				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	マル初(別掲)		非定型抗酸菌症(別掲)	
		登録時喀痰陽性		その他の結核菌陽性	菌陰性その他				治療中	観察中	治療中	観察中
		初回治療	再治療									
総数	149	21	0	17	7	17	70	17	4	0	0	6
四日市市	125	18	0	12	7	14	61	13	4	0	0	6
菰野町	13	1	0	4	0	2	3	3	0	0	0	0
朝日町	3	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
川越町	8	2	0	1	0	1	4	0	0	0	0	0

(2) 活動性分類別・医療別結核患者登録数

平成 19 年末

分類別 区分	総数	肺結核活動性				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	マル初(別掲)		非定型抗酸菌症(別掲)	
		登録時喀痰陽性		その他の結核菌陽性	菌陰性その他				治療中	観察中	治療中	観察中
		初回治療	再治療									
総数	149	21	0	17	7	17	70	17	4	0	0	6
入院	8	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
外来医療	48	14	0	14	6	14	0	0	2	0	0	0
医療なし	82	0	0	0	0	0	70	12	0	0	0	6
不明	8	0	0	1	1	1	0	5	0	0	0	0

【感染症診査協議会】

(1) 感染症予防法第37条の2申請状況(一般患者に対する医療)

平成19年

	総数	新規申請	継続申請	再申請	解除申請
申請件数	126	93	33		
合格件数	126	93	33		
承認件数	126	93	33		
合格率(%)	100	100	100		
承認率(%)	100	100	100		

感染症予防法第37条の2(旧結核予防法34条)

(2) 感染症予防法第37条申請状況(入所患者の医療)

平成19年

	総数	新規申請	継続申請	再申請	解除申請
申請件数	66	31	45	2	32
合格件数	66	31	45	2	32
承認件数	66	31	45	2	32
合格率(%)	100	100	100	100	100
承認率(%)	100	100	100	100	100

感染症予防法第37条(旧結核予防法35条)

法の改正(感染症予防法)により承認期間は30日以内となった。

【結核登録患者の状況】

(1) 新登録患者数(活動性分類別・年齢階級別)

平成19年末

分類別 年齢	活動性結核								マル初 (別掲)	非定型 抗酸菌 陽性 (別掲)
	総数	肺結核活動性						肺外 結核 活動性		
		総数	喀痰塗抹陽性			その他 の結核 菌陽性	菌陰性 ・ その他			
			総数	初回 治療	再治療					
総数	66	53	26	26	0	20	7	13	4	3
0~4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
5~9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
15~19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20~29	6	6	1	1	0	3	2	0	0	0
30~39	5	4	2	2	0	1	1	1	0	0
40~49	4	4	2	2	0	2	0	0	0	0
50~59	8	6	3	3	0	2	1	2	0	0
60~69	8	5	0	0	0	3	2	3	0	0
70~	35	28	18	18	0	9	1	7	0	3

(2) 市町別結核新登録患者の状況

平成 19 年末

分類別 市町	活 動 性 結 核								り患率 (人口 10万) 対	総人口 (H19.10 現在)
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他 の結核 菌陽性	菌陰性 ・ その他			
			総 数	初 回 治 療	再 治 療					
総 数	66	53	26	26	0	20	7	13	18.0	367,450
四日市市	54	44	21	21	0	16	7	10	17.6	306,282
菰野町	8	6	3	3	0	3	0	2	20.2	39,576
朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,347
川越町	4	3	2	2	0	1	0	1	30.2	13,245

(3) 結核予防第35条による結核命令入所患者状況

18年12月現在患者数	新規命入患者数	解除患者数	19年12月現在患者数
8	31	37	2

【結核検診】

(1) 定期診断及び定期外診断実施状況

平成 19 年度

区分 対象別		実施者数	予 防 接 種		QFT 検 査		間 接 撮 影 (直 接 撮 影)		
			6ヶ月 未 満	1歳 未 満	受診者数	感染者数	受診者数	患者発見数	
定 期	総 数	22,591	3,409	19	/	/	12,881 (6,282)	0	
	学 校	高 校 生	4,647	-	-	/	/	4,632 (15)	0
		そ の 他	509	-	-	/	/	389 (120)	0
	一 般 住 民	8,185	3,409	19	/	/	4,757 (0)	0	
	事 業 所	1,991	-	-	/	/	375 (1,616)	0	
	そ の 他	7,259	-	-	/	/	2,728 (4,531)	0	
定 期 外	総 数	305		*14	91	4	220	3	
	患 者 家 族	147		*14	26	3	107	3	
	そ の 他	178		0	65	1	113	0	
管 理 検 診		24					24	0	

*:ツベルクリン反応検査

(2) 一般住民検診(定期検診)市町別受診状況

平成19年度

	予防接種		間接撮影	かくたん検査
	6ヶ月未満	1歳未満		
総数	3,409	19	4,757	106
四日市市	2,803	16	3,191	54
菰野町	346	2	1,096	32
朝日町	105	1	317	20
川越町	155	0	153	0

2. 地域精神保健福祉対策

(1) 精神障害者保護取扱状況

(平成20年4月1日現在)

	申請・通報件数						通報等による調査結果の処 理		指 定 医 診 察 結 果		措置非該当の 場合の結果	
	計	法23条	法24条	法25条	法26条	法26条 の2	鑑定 必要	鑑定 不要	措置 該当	措置 非該当	医療保 護入院	その他
平成15年度	10		9		1		9	1	6	3	2	1
平成16年度	19	1	14	3	1		18	1	12	6	3	3
平成17年度	14	2	11		1		12	2	8	4	3	1
平成18年度	16	1	14	1			12	4	3	9	5	4
平成19年度	12		12				12		3	9	2	7

(2) 病名別・措置入院者数

(平成20年4月1日現在)

	総 数	統 合 失 調 症	そ う う つ 病	心 因 反 応	非 定 型 精 神 病	急 性 そ う 病	人 格 障 害	覚 醒 剤 中 毒	ア ル コ ー ル 依 存 症	そ の 他
男 性	3	1	1			1				
女 性										
総 数	3	1	1			1				
平成19年度 措置患者	3	1	1			1				

(3) 市町別措置人数 (平成20年4月1日現在)

	現在入院者	H19年度入院者
四日市市	0	3
菰野町	0	0
朝日町	0	0
川越町	0	0

(4) 精神障害者保健福祉手帳交付状況 平成20年3月末現在

市町 等級	合計	四日市市	菰野町	朝日町	川越町
1級	154	135	16	0	3
2級	879	771	65	10	33
3級	242	211	23	3	5
合計	1,275	1,117	104	13	41

(5) 自立支援医療費(精神通院)受給者証交付状況 平成20年3月末現在

	合計	四日市市	菰野町	朝日町	川越町
交付件数	5,294	4,451	582	103	158

(6) 精神障がい者地域生活推進事業

精神保健福祉相談

精神保健及び精神障がい者の福祉に関し、精神障がい者及びその家族等からの相談に応じた。

項目		利用者数	
		実人員	延べ件数
精神科医師相談	月1回	46件	48件(内、家庭訪問2件)
訪問	随時	38件	91件
面接	随時	82件	157件
電話	随時	189件	496件

保健所デイケア

在宅精神障がい者の社会参加の機会、安心・安全の場を提供した。

ア、金よう会

対象：在宅の精神障がい者

開催数：年23回(毎月第1、3金曜日)

参加数：実人員10名(男6名、女4名)、延べ人員162名

内容：料理、音楽療法、創作活動、SST(生活技能訓練)、清掃美化活動
施設交流会ソフトバレー大会、クリスマス会、老人施設訪問

イ、フリースペース

対 象：在宅の精神障がい者

開催数：年23回（毎月第2，4金曜日）

参加数：実人員10名（男6名、女4名）、延べ人員136名

内 容：憩いの場の提供

引きこもり当事者会（さぼてんの花）

開催数：23回（毎月第3・4木曜）

参加数：実人員7名（男5名、女2名）、延べ人員35名

内 容：情報交換、スポーツ等

精神保健福祉講座（ボランティア教室）

精神障がい者の地域移行が進められていく中で、精神障がい者を理解する人々を増やすことは不可欠である。精神障がい保健福祉について学び、地域の方々が精神障がい者に対する理解を深めていくときのリーダーとなり得るボランティアを養成する。

対 象：地域住民

* 市町広報での募集と傾聴同好会主催による傾聴ボランティア養成講座修了者から希望者を募った。

開催数：延べ18回

参加延数：実人員75名、延べ人員156名

（内 容）

	内 容	担 当
1、保健所実習	(1) 地域の精神保健福祉の現状について (2) ビデオ鑑賞 「あせらずに ゆとりをもって むりしない」 (3) デイケアメンバーとの交流	保健師
2、施設実習	わかば共同作業所、四季の里、フェアワークス下野、 障害者相談支援センターHANA、障害者支援センター ソシオ	各施設職員
3、講義と座談会	(1) 「精神疾患・精神障害者にたいする『心のバ リアー』とその家族 (2) 「ボランティア活動の紹介と体験発表」	地域家族会「ほうれん草の 会」会長 精神保健福祉ボランティア「 ハートフル会」会員

* 傾聴ボランティア養成講座において、「傾聴」及び「精神疾患の理解」についての講義は修了した。

精神保健福祉ボランティアの育成（ハートフル会の育成）

対 象：精神保健福祉ボランティア講座修了者で、ボランティア活動を希望する人

内 容：定例会への参加、研修会等の案内、当事者対応に関するスーパーバイズ

研修会

市町はじめ関係機関職員の資質向上をめざし、三泗地域精神保健福祉連絡会運営による研修会を実施した。

日時	対象	内容	講師
平成 19 年 11 月 27 日	市町職員 精神保健福祉関係職員 ボランティア等	講義 「統合失調症の理解と 生活支援」	障害者相談支援センタ ーソシオ 精神保健福祉士 下方 弘明 氏
平成 20 年 2 月 12 日	市町職員 精神保健福祉関係職員 ボランティア等	講義「精神障がい者家族 として、誤解・偏見の解 消にむけて」	地域家族会「ほうれん草 の会」会長 山本 武之 氏

家族会支援

対 象：地域家族会「ほうれん草の会」

支援回数：年 1 1 回

内 容：定例会への出席

三泗地域精神保健福祉連絡会

関係機関と地域の現状や課題を共有し、支援のためのネットワークを構築する。

ア、委員会

委 員：警察署（3名）精神科病院（2名）市町（4名）家族会、ボランティア等の代表

開催数：年 1 回

出席者数：15名

内 容：情報の共有と地域の課題について協議

イ、担当者部会

開催回数：年 3 回

内 容：関係機関の職員資質向上を目的とした研修会の企画運営

医療観察法に基づいたケア会議

保護観察所が主催するケア会議に出席し、対象者の医療の保護と社会復帰の促進に協力した。

対象件数：3件

ケア会議出席回数：19回

市町への支援

市町の求めに応じて同行訪問やケース検討会へ出席した。

四日市市	9回
三重郡	15回

3. 難病対策

難病はその原因が不明で、効果的な治療法がない、重症度も高く生活面に及ぼす影響も大きい、その医療費も高額となる、等の理由から、原因の究明や治療法の確立を図る必要があります。

国が指定した45の特定疾患については、治療研究事業の対象疾患として、医療費の給付制度があり、治療費の自己負担の軽減が図られています。

平成19年度 特定疾患医療受給者証認定状況

(平成20年3月末現在)

	総数	内 訳				平成19年度 新規認定者 (内数)	
		四日市市	菰野町	朝日町	川越町		
1	ベーチェット病	43	35	7	0	1	4
2	多発性硬化症	43	39	2	0	2	4
3	重症筋無力症	34	28	6	0	0	2
4	全身性エリテマトーゼス	141	123	14	1	3	13
5	スモソン	7	7	0	0	0	0
6	再生不良性貧血	18	16	2	0	0	2
7	サルコイドーシス	53	49	2	0	2	12
8	筋萎縮性側索硬化症	26	24	1	0	1	9
9	強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	193	158	23	3	9	16
10	特発性血小板減少性紫斑病	98	87	7	4	0	17
11	結節性動脈周囲炎	14	10	3	0	1	5
12	潰瘍性大腸炎	306	255	37	5	9	48
13	大動脈炎症候群	10	6	4	0	0	0
14	ピュルガ－病	17	14	2	1	0	2
15	天疱瘡	9	7	0	0	2	1
16	脊髄小脳変性症	55	48	5	1	1	7
17	クローン病	94	70	16	2	6	13
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	0	0	0	0	1
19	悪性関節リウマチ	15	14	1	0	0	1
20	パーキンソン病	285	257	16	1	11	58
21	アミロイドーシス	3	3	0	0	0	0
22	後縦靭帯骨化症	80	69	7	2	2	11
23	ハンチントン舞踏病	2	2	0	0	0	0
24	モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	34	28	6	0	0	5
25	ウェゲナー肉芽腫症	4	4	0	0	0	0
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	103	94	5	1	3	10
27	多系統萎縮症	33	24	6	1	2	0
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2	2	0	0	0	0
29	膿疱性乾癬	7	6	0	0	1	0
30	広範脊柱管狭窄症	5	4	1	0	0	0
31	原発性胆汁性肝硬変	81	66	8	2	5	4
32	重症急性膵炎	0	0	0	0	0	2
33	特発性大腿骨頭壊死症	36	34	1	1	0	5
34	混合性結合組織病	23	21	2	0	0	3
35	原発性免疫不全症候群	3	2	1	0	0	0
36	特発性間質性肺炎	10	10	0	0	0	2
37	網膜色素変性症	35	26	8	0	1	1

38	プ リ オ ン 病	2	2	0	0	0	1
39	原 発 性 肺 高 血 圧 症	6	5	1	0	0	2
40	神 経 繊 維 腫 症	10	10	0	0	0	3
41	亜 急 性 硬 化 性 全 脳 炎	0	0	0	0	0	0
42	バ ッ ト ・ キ ア リ 症 候 群	1	1	0	0	0	0
43	特 発 性 慢 性 肺 血 栓 塞 栓 症	2	2	0	0	0	0
44	ラ イ ソ ソ ー ム 病 (ア ッ リ 病 含 む)	6	6	0	0	0	4
45	副 腎 白 質 ジ ス ト ロ フ ィ ー	1	1	0	0	0	0
	合 計	1,950	1,669	194	25	62	268

[難病在宅ケア事業]

難病患者及び家族の包括的な在宅支援活動について、関係職種との連携を図りながら支援体制を整えます。

[在宅患者及び家族への支援体制の充実]

神経難病患者11件(延85件)に家庭訪問を実施、関係機関との連携・調整をはかりながら在宅療養生活を支援しました。また、所内面接や電話相談で難病患者・家族の個別ケアを実施しました。

[患者・家族の生活の質向上への支援]

患者家族が疾患の理解を深め、療養上の疑問を解決することで適切な療養生活を送ることができるよう、難病相談会を開催しました。

パーキンソン病対象 2回実施

内容:「パーキンソン病の治療」

講師:神経内科医師

参加者32名

「家庭でできる機能訓練」

講師:理学療法士

参加者 3名

脊髄小脳変性症・多系統萎縮症対象

内容:「家庭でできる機能訓練」

講師:理学療法士

参加者6名

潰瘍性大腸炎・クローン病対象

内容:「炎症性腸疾患の治療」

講師:消化器外科医師

参加者36名

「炎症性腸疾患の食事」

講師:病院管理栄養士

後縦靭帯骨化症・広範脊柱管狭窄症・特発性大腿骨頭壊死症対象

内容:「専門医からの元気が出るメッセージ」

講師:整形外科医師

参加者23名

ボランティアの育成

難病患者・家族支援の充実をはかるため、難病ボランティアの育成に取り組みました。

「医療相談事業への参加」2回開催 参加者 延4名

[地域関係機関との協力体制づくり]

在宅生活が困難な難病患者・家族について、支援者での事例検討会を開催しながら、支援目標の共有化とお互いの役割分担を明確にし、関係者との連携強化を図りました。

在宅療養支援計画策定・評価事業

筋萎縮性側索硬化症患者6例について、ケア会議を29回開催しました。

難病研修会の開催

「看護従事者研修会」

対象者：訪問看護師

内 容：難病疾患と看護の理解についての講義、病棟実習、連携のためのディスカッション

参加者：7名

「難病研修会」

対象者：ホームヘルパー、訪問看護師、ケアマネージャー、理学療法士、ソーシャルワーカー

内 容：疾患の理解の講義と意見交換

参加者：6名

4 . 感染症対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症発生時での検病調査、病原菌検索等を行い感染症予防対策を行いました。

〔感染症発生状況〕

腸管出血性大腸菌感染症（三類） 6件

細菌性赤痢（三類） 1件

5 . 原子爆弾被爆者対策

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者手帳を交付し、被爆者の健康管理を行いました。

また、対象者には各種手当の支給を行いました。

〔健康手帳保持状況〕

健康手帳保持者数 156人

〔健康診断受診状況〕

1回受診者数 83人 2回受診者数 77人

〔各種手当支給状況〕

医療特別手当 1人

特別手当 1人

健康管理手当 127人

保健手当 5人

介護手当 1人

6 . 予防接種対策

予防接種法に基づき円滑に予防接種の実施が出来るよう、市町、医師会等と連携を図るとともに、予防接種による健康被害に関する救済事務を行なっています。

